

# 第73回秋季東北地区高等学校野球大会

□大会第1日目 10月14日(水)

1回戦		仙台市民球場		2時間 12分															
柴田	0 0 0	0 0 4	3	0	0	7	【柴】	39	14	7	0	2	3	9	10	0	2		
学法石川	0 0 0	0 2 0	0	0	0	2	【学】	30	5	2	0	0	3	0	4	0	0		
(球) 西尾新一(山形)		(一) 武田 徹	(二) 森山宏則	(三) 布田秀斗			▽本塁打												
【柴】	谷木	—	舟山			▽三塁打													
【学】	高橋, 菊池, 阿部, 立石	—	山田			▽二塁打						舟山2, 沼田, 遠藤						(柴)	
▽暴投 谷木1(柴)		▽捕逸 なし																	

## 【評】

中盤強力打線の繋がりを見せた柴田が学法石川を振り切り開幕戦を制した。先制したのは、学法石川。4回まで1安打に抑えられた打線は、5回8番黒川、9番高橋の連打で好機を作ると1番権守の適時三塁打で2点を先制した。追う柴田は6回先頭舟山の右安打を皮切りに5安打で4点を取り逆転に成功した。7回にも投手の代わり側を攻め3点を追加した。投げては、柴田先発谷木が力のあるストレートで相手打線を封じ勝利を引き寄せた。柴田は、投打が噛み合い7年ぶりの東北大会初戦を勝利で飾った。

1回戦		石巻市民球場		2時間 31分															
鶴岡東	0 0 0	0 0 0	2	0	0	2	【鶴】	31	4	2	0	1	3	7	6	0	0		
花巻東	0 1 2	0 0 0	2	2	×	7	【花】	31	9	6	0	2	7	3	9	1	0		
(球) 三浦 徹		(一) 浅利卓真	(二) 佐藤 圭	(三) 山館浩樹			▽本塁打												
【鶴】	津田, 海藤	—	堀部			▽三塁打													
【花】	菱川, 平井	—	田代			▽二塁打						安藤						(鶴)	
▽暴投 津田1(鶴岡東) 菱川1(花巻東)		▽捕逸 なし										菱川, 佐藤, 黒澤						(花)	

## 【評】

花巻東は2回裏、一死2・3塁で7番平井のレフトへの犠飛で先制した。3回裏にも四球と安打でチャンスを広げ二死2・3塁で4番菱川のレフト線への二塁打で2点を追加しリードを広げた。投げては先発菱川が、6回まで鶴岡東打線を無安打に抑えたが、7回に2点を失うも、終盤の打線の援護で加点し鶴岡東を突き放し初戦に勝利した。

鶴岡東は7回に4安打で2点を返し、1点差まで追い上げたが、後続が抑えられ追いつくことができず、4安打に抑えられ初戦敗退となった。

2回戦		仙台市民球場		1 時間 58 分				打安点盗犠四三残失併															
由利	工	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	4	【由】	33	5	1	0	1	1	10	7	2	0
東	北	0	0	2	0	0	2	0	0	x			【東】	29	7	4	1	3	4	4	8	3	1
(球) 高尚英(岩手) (一) 太田博昭 (二) 曾根徳明 (三) 小倉貴仁												▽本塁打		なし									
【由】 高瀬、齊藤塁 — 佐藤大												▽三塁打		竹中(東)									
【東】 司城、佐々木、鍵本、庄司 — 中道												▽二塁打		なし		(由)							
▽暴投 高瀬1(由)												▽捕逸 中道1(東)											

【評】

東北が4人の投手の継投で由利工業の攻撃を1点に抑え、チャンスを着実に活かして得点を重ねて勝利をつかんだ。

東北は3回裏、四球で出塁したこの回先頭の司城を犠打で送った後、2番中町の中前打で先制。さらに、盗塁で2塁に進んだ中町を4番伊藤が右前打で返して2点目を挙げた。由利工業は4回表の無死満塁のチャンス逃した後の5回表、中前打で出塁した8番佐藤が2番高橋の右前打で生還し1点を返した。6回裏東北は、1死後右中間三塁打の5番竹中を6番高橋がスクイズ(記録は安打)で生還させ、7番関戸8番中道の連打でさらに1点を追加し、4点目を挙げて由利工業を突き放した。

由利工業は、継投の3人の投手に6回以降無安打に抑えられ、反撃は叶わなかった。

2回戦		仙台市民球場		2 時間 26 分				打安点盗犠四三残失併															
羽	黒	5	2	1	0	0	0	0	2	10	7	10	【羽】	39	13	10	0	1	7	5	10	1	0
盛岡大	附	0	0	0	2	0	0	0	2	3			【盛】	36	8	7	2	0	3	6	5	0	0
(球) 野田学 (一) 西山充 (二) 毛利晃 (三) 吉田喜典												▽本塁打		池田(羽), 渡邊(盛)									
【羽】 奥中, 本間 — 高橋柊												▽三塁打		櫻井(羽), 小針(盛)									
【盛】 三浦, 渡邊 — 田屋												▽二塁打		齋藤2, 奥中		(羽)							
▽暴投 奥中1(羽)												▽捕逸 なし		新井2		(盛)							

【評】

序盤にリードした羽黒高校が、終盤の盛岡大附属高校の反撃をしのぎ、乱打戦を制した。羽黒高校は、1回表2アウトランナー無しから、3番菅井のセカンド強襲安打を皮切りに6番齋藤と8番奥中の適時二塁打で一挙5点をあげた。2回表も2点を追加し、3回表には9番池田の左越本塁打で1点を加え、8対0とリードを広げた。

対する盛岡大附属高校は、4回裏に4番小針の適時右中間三塁打などで2点を返し、8回裏には2番渡邊の左越2点本塁打で追い上げた。9回表、羽黒高校は1番櫻井の適時右中間三塁打で2点を追加するも、9回裏、盛岡大附属高校は代打の南と1番松本の適時右前安打で3点を返して最後まで追い上げたが、及ばなかった。

2回戦		石巻市民球場		2 時間 29 分				打安点盗犠四三残失併															
日大	山形	0	0	1	2	1	1	0	0	0	5	3	【日】	36	10	5	1	2	4	8	10	1	1
聖	愛	1	2	0	0	0	0	0	0	0			【聖】	30	6	2	3	2	8	5	10	1	0
(球) 吉田将則 (一) 高橋弥寿仁 (二) 加藤修一 (三) 浅野卓也												▽本塁打		大類(山), 秋葉(山)									
【日】 小野, 大類, 齋藤 — 梅津												▽三塁打		なし									
【聖】 町田, 木村, 葛西 — 松坂												▽二塁打		秋葉		(日)							
▽暴投 小野1(山形), 齋藤1(山形), 町田1(聖愛), 木村1(聖愛)												▽捕逸 松阪2(聖愛)		長利, 高木		(聖)							

【評】

序盤は弘前学院聖愛が試合の主導権を握った。日大山形の先発左腕小野の立ち上がりをとらえ、2塁打と犠打でチャンスを広げ、暴投で先取点を挙げた。2回にも四球とエラーで広げたチャンスに内野ゴロと押し出しでさらに2点を挙げた。

追う日大山形は3回に1点、4回には今大会第1号となる大類の2ランが出て同点とするなど、次第に流れを奪い返した。5回にも1点、さらに6回に2番秋葉の本塁打で追加点を挙げた。継投に入った後は日大山形投手陣が聖愛につけ入る隙を与え、最後まで丁寧な投球を見せ、リードを守り切った。

2回戦		石巻市民球場		1 時間 51 分				打安点盗犠四三残失併															
仙	育英	0	0	0	1	0	0	2	4	7	7	0	【仙】	33	11	7	4	2	1	1	5	0	0
湯	沢	0	0	0	0	0	0	0	0	0			【湯】	26	3	0	1	0	1	13	3	5	1
(球) 小松健春 (一) 菅原幸 (二) 西城皇祐 (三) 福田好伸												▽本塁打		なし									
【仙】 松田, 中村 — 木村												▽三塁打		なし									
【湯】 佐藤創, 武藤 — 佐藤悠												▽二塁打		八巻2, 岡田, 小野		(仙)							
▽暴投 武藤1(湯沢)												▽捕逸 佐藤悠1(湯沢)		なし		(湯)							

【評】

仙台育英が終盤、集中打を浴びせて8回コールドで湯沢翔北に勝利した。

序盤は仙台育英・松田と湯沢翔北・佐藤の息詰まるような投手戦で、5回終了時点で仙台育英が1-0で辛うじてリードしていた。しかしながら、仙台育英は疲れが見え始めた湯沢翔北・佐藤から連打を浴びせ7回2点、8回4点を挙げ突き放した。特に6番・八巻は4安打2打点の大活躍だった。

先発した仙台育英・松田の投球も見事だった。5回1死まで無安打に封じ、湯沢翔北打線を2安打・11奪三振に抑えた。